

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第126期(2024年12月1日～2025年11月30日)におけるわが国経済は、物価の上昇が続くなか、個人消費や設備投資は緩やかに持ち直しは始めている状況

となっております。海外経済は通商政策などアメリカの政策動向による影響が大きく、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下、第126期における業績は、売上高は278億42百万円(前期比2.8%減)、営業利益は6億68百万円(前期比27.8%減)、経常利益は9億44百万円(前期比16.5%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は、減損損失や特別退職金を特別損失として計上したため7億26百万円(前期親会社株主に帰属する当期純利益6億22百万円)となりました。

2026年度～2028年度の新中期経営計画がスタートしており、経営重点課題として、引き続き収益力の回復が最重要であります。人資本の開発とグループガバナンスの強化にも取り組んでまいります。

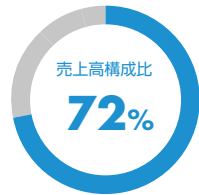
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらず格別のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年2月

代表取締役社長 名倉 宏之

セグメントの状況

産業用機能フィルター・コンベア事業



売上高 **200億30百万円** (前期比 0.3%減)
営業利益 **7億86百万円** (前期比 30.7%減)

製紙製品分野での需要の減少による売上減に加え、人件費や製造費の上昇により、売上高、営業利益ともに前期と比べ減少しました。

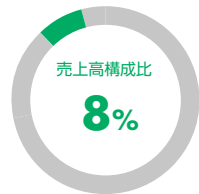
電子部材・フォトマスク事業



売上高 **45億56百万円** (前期比 4.4%増)
営業利益 **3億68百万円** (前期比 26.3%減)

売上高は前期に比べ増加しましたが、営業利益は製造経費が増加したことにより、前期と比べ減少しました。

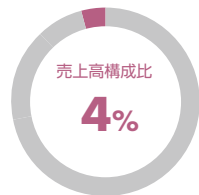
環境・水処理関連事業



売上高 **22億23百万円** (前期比 29.5%減)
営業利益 **64百万円** (前期営業損失62百万円)

新たな大型案件の受注については慎重に検討し控えていた影響により、売上高は前期比減となりましたが、営業損失は改善しました。

不動産賃貸事業



売上高 **10億31百万円** (前期比 0.1%減)
営業利益 **7億79百万円** (前期比 0.2%減)

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、売上高および営業利益は前期並みとなりました。

Topics 1

2026年度～2028年度中期経営計画を策定しました

当社グループでは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向け、2026年1月に新たな中期経営計画を発表いたしました。

グループ長期ビジョン

100年超え企業として、
次の100年も社会が必要とする
製品・サービスを生み出し続ける企業集団

マテリアリティ

- 生活に不可欠な製品群の提供による社会の利便性向上および環境負荷低減
- 顧客ニーズに応える営業力と高品質な製品
- 人資本の開発
- グループガバナンスの強化

〈2028年度(2028年11月期)の中期目標〉

グループ定量目標

売上高 **288億69百万円**
営業利益 **15億円**

グループ資本効率目標

ROE **6.0%**

グループ株主還元目標

配当性向 **30%以上かつ**
DOE **2.4%以上**

経営重点課題

長期ビジョンの達成に向け、マテリアリティに基づき、中期経営計画の期間で取り組むべき3つの課題

収益力の回復

前中期経営計画から引き続き最優先課題として認識しております。売上高などの規模拡大ではなく、稼ぐ力の向上に注力するため、現在の事業運営状況を抜本から見直し、失敗を恐れず、策を実行していただくことを重視いたします。

人資本の開発

人を活かす経営に向け、与えられた仕事をこなすだけでなく、自ら考えて動ける人材を育て、チャレンジできる機会も提供してまいります。

グループガバナンスの強化

グループ全体としては、会議体の運営見直しや、新たに設置する任意の指名・報酬委員会の活動を通じてガバナンスをさらに強化してまいります。グループ内の子会社管理につきましても、収益力向上と内部統制の両面から最適なガバナンス体制を再検討してまいります。

詳細については、当社HPをご覧ください。<https://www.filcon.co.jp/company/keymanagement.html>



Topics 2

当社グループ初の「日本フィルコン統合報告書2025」を発行しました

本報告書では、当社グループのこれまでの歩みや現在の姿、そして今後どのように価値を社会に提供していくのかを、ステークホルダーの皆様にお伝えすることを目的として作成いたしました。株主の皆様もぜひ、ご一読ください。



社長メッセージ



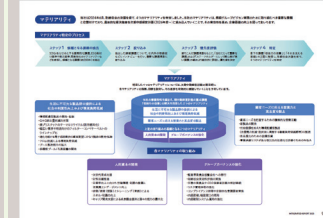
価値創造プロセス



日本フィルコングループの強み



マテリアリティ



「日本フィルコン統合報告書2025」はこちらからご覧いただけます。

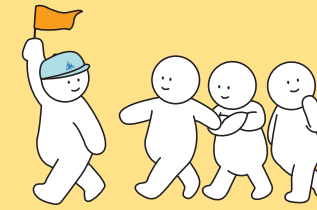
<https://www.filcon.co.jp/IR/library/integrated-report.html>



Topics 3

株主様向け工場見学会

のご報告



プラスチック製の糸を織機で織る「製織」の工程を含め、紙・パルプ抄造用網の製造工程を間近でご覧いただきました

2025年7月15日(火)・16日(水)、当社事業内容をより一層ご理解いただくため、当社として初の試みとなる「株主様向け工場見学会」を静岡工場(静岡県富士市)で開催いたしました。両日ともあいにくの悪天候でしたが、2日間で23名の株主様に工場をご見学いただきました。工場内では、当社主力製品である紙・パルプ抄造用網の製造工程をご覧いただき、「普段見られない製造工程が見られてよかった」などのお声を多数頂戴いたしました。見学会は、株主様から直接ご意見を伺う貴重な機会となりました。



当社グループの経営陣が株主様からのご質問に直接お答えいたしました



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 2025年11月30日現在	前期末 2024年11月30日現在
流動資産	21,443	21,441
固定資産	21,513	21,778
負債	20,404	19,960
純資産	22,552	23,259
総資産	42,957	43,219

(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 (2024年12月 1日から 2025年11月30日まで)	前期 (2023年12月 1日から 2024年11月30日まで)
売上高	27,842	28,639
売上総利益	9,548	9,858
営業利益	668	924
経常利益	944	1,130
親会社株主に帰属 する当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△726	622

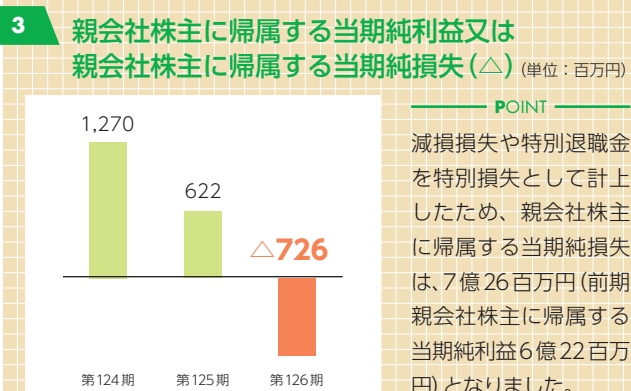
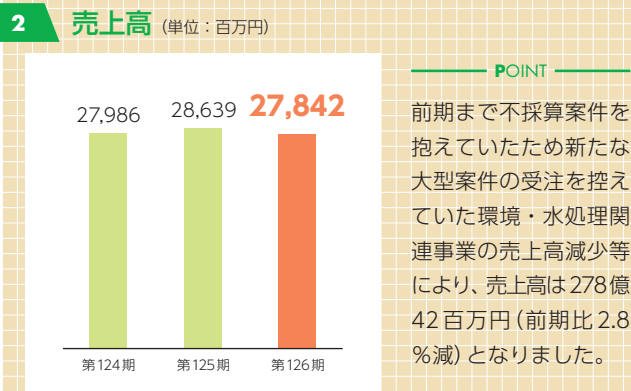
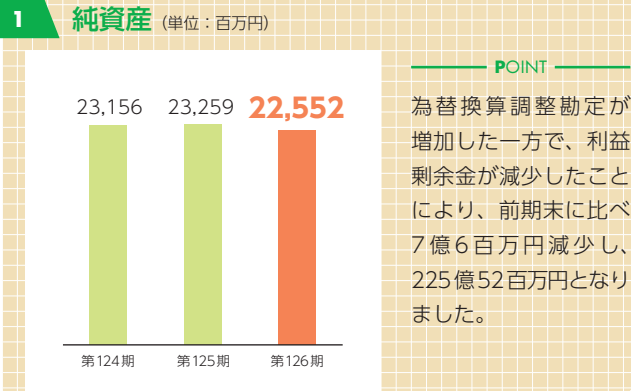
(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 (2024年12月 1日から 2025年11月30日まで)	前期 (2023年12月 1日から 2024年11月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,994	1,971
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,439	△1,013
財務活動による キャッシュ・フロー	△345	△579
現金及び現金同等物の 期末残高	5,113	4,822

(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。



商号 日本フィルコン株式会社
本店所在地 東京都稲城市大丸2220番地
TEL 042 (377) 5711(代表) FAX 042 (377) 5714
設立年月日 1936年3月18日(創業1916年)
資本金 26億85百万円
上場取引所 東京証券取引所(スタンダード市場)
ホームページ <https://www.filcon.co.jp/>

主要な製造、販売品目

紙・パルプ抄造用網、各種工業用特殊網等／エッチング加工製品、フォトマスク製品等／プール本体および水処理装置、その他環境関連製品等／店舗・駐車場の賃貸等

主要な事業所等

当社の主要な事業所

本社・東京事業所(東京都稲城市)	静岡事業所(静岡県富士市)
北海道営業所(北海道千歳市)	大阪営業所(大阪府大阪市)
上海事務所(中国 上海市)	

子会社

Filcon America, Inc. (アメリカ オレゴン州)
FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD. (タイ プラチンブリ県)
FILCON Germany GmbH (ドイツ デュッセルドルフ市)
斉藤特殊金網株式会社(本社：東京都稲城市)
関西金網株式会社(本社：大阪府大阪市)
Siam Wire Netting Co., Ltd. (タイ ランプーン県)
TMA CORPORATION PTY LTD (オーストラリア 西オーストラリア州)
関西金属網科技(昆山)有限公司(中国 江蘇省)
エスデアイ・エレクトロニクス・ジャパン株式会社(本社：東京都稲城市)
株式会社アクアプロダクト(本社：東京都稲城市)

当社従業員数433名 企業グループ従業員数1,350名

取締役 (2026年2月25日現在)

代表取締役社長	名倉 宏之	社外取締役	阿部 稔
専務取締役	齋藤 芳治	社外取締役	伊能 優子
常務取締役	佐野 明宣	取締役(常勤監査等委員)	青木 豊
常務取締役	野村 国大	社外取締役(監査等委員)	佐々木 章浩
取締役	久慈 健仁	社外取締役(監査等委員)	木村 尚子

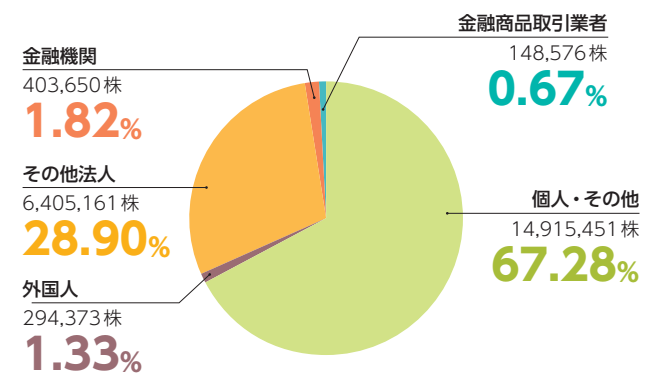
発行可能株式総数	80,000,000 株
発行済株式の総数	22,167,211 株
株主数	24,499 名

大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
王子ホールディングス株式会社	27,001	13.85
大王製紙株式会社	18,165	9.32
日本フィルコングループ従業員持株会	14,789	7.58
日本製紙株式会社	11,065	5.67
日本フェルト株式会社	3,000	1.54
竹田昌弘	2,525	1.29
明治安田生命保険相互会社	2,004	1.03
名倉宏之	1,371	0.70
齋藤芳治	1,072	0.55
東京海上日動火災保険株式会社	1,057	0.54

(注) 1. 当社は、自己株式2,666,495株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 持株数は百株未満は切り捨て、持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

所有者別持株比率



株主メモ	
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金の基準日	期末配当金: 11月30日 中間配当金: 5月31日
定時株主総会	毎年2月
議決権の基準日	定時株主総会: 11月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社のホームページ https://www.filcon.co.jp/ に掲載いたします。ただし、 電子公告によることができない事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問合せ先	
証券会社に口座をお持ちの場合	
お問合せ先	お取引の証券会社になります。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、株主名簿管理人までお問合せください。

特別口座の場合	
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
ご注意	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。(特別口座に記録したままでは、株式を証券取引所で売買することはできません。)

